



研究部会報告

● 待ち行列 ●

・第199回

日時：5月19日(土) 14:00~16:30

出席者：25名

場所：東京工業大学西8号館(W)809号室

テーマと講師（*は講演者）：

(1)「生産—販売価格契約モデルとその解析について」

*中出康一（名古屋工業大学）

概要：需要分布が販売価格に依存する生産—販売価格契約モデルについて、生産者や販売者の利益関数の性質（適当な条件下では販売者の利益関数が販売価格について単峰性を有する等）が紹介された。また、生産者と販売者の意思決定順序が利益関数にもたらす影響、及び複数の販売者からなる問題の現状について報告された。

(2)「モバイル・エージェントの最適巡回政策」

*井家 敦，石坂充弘（神奈川工科大学）

概要：モバイル・エージェント技術をネットワーク監視に適用する場合に、ネットワークを構成する複数のノードを1つのモバイル・エージェントが巡回する際の最適政策（単位時間当たりの期待費用が最小となる巡回経路）に関する検討がされた。セミマルコフ決定過程を使った分析により最適政策が費用低減効果を持つことが示された。

● OR と実践 ●

・第6回

日時：5月19日(土) 14:30~17:00

出席者：12名

場所：富山県民会館601室

テーマと講師（*は講演者）：

(1)「中国における地域経済発展の不平等について—収束性の観点から—」

*胡 水文，前田 隆（金沢大学）

概要：本報告では改革開放後の中国における、所得格差の収束の問題を検証した。主にクロスセクションとパネルデータの比較分析、さらにパネルデータ

の問題を克服するために、GMM分析を行った。その結果、中国においては所得格差の絶対収束が成立せず、条件付収束であることを確認し、さらに所得格差の要因を考察した。

(2)「製薬企業の成長モデルと合併効果」

宮重徹也（富山商船高等専門学校）

概要：本講演では、『医薬品企業の経営戦略—企業倫理による企業成長と大型合併による企業成長—』（慧文社）に基づいて、製薬企業の企業成長モデルを示したうえで、その企業成長モデルに対して大型合併の及ぼす効果について講演を行った。具体的には、製薬企業の研究開発能力、内部資源、医薬品売上高に及ぼす効果を分析した。

会 合 記 録

5月10日(木)	研究普及委員会	9名
5月11日(金)	庶務幹事会	10名
5月16日(水)	機関誌編集委員会	12名
5月18日(金)	理事会	17名
5月21日(月)	表彰委員会	8名